

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

追加型投信／海外／資産複合
2025年6月30日基準



基準価額・純資産総額

基準価額	10,672 円
解約価額	10,640 円
純資産総額	3,251 百万円
設定日	2005年9月29日
決算日	原則として毎月26日 (休日の場合は翌営業日)

※基準価額および解約価額は1万口当たり

分配金実績(税引前) ※直近3年分

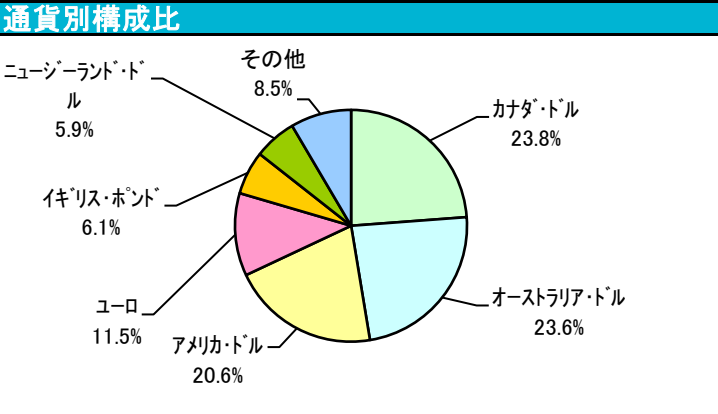
第200期 (2022.07.26)	20 円	第212期 (2023.07.26)	20 円	第224期 (2024.07.26)	20 円
第201期 (2022.08.26)	20 円	第213期 (2023.08.28)	20 円	第225期 (2024.08.26)	20 円
第202期 (2022.09.26)	20 円	第214期 (2023.09.26)	20 円	第226期 (2024.09.26)	20 円
第203期 (2022.10.26)	20 円	第215期 (2023.10.26)	20 円	第227期 (2024.10.28)	20 円
第204期 (2022.11.28)	20 円	第216期 (2023.11.27)	20 円	第228期 (2024.11.26)	20 円
第205期 (2022.12.26)	20 円	第217期 (2023.12.26)	20 円	第229期 (2024.12.26)	20 円
第206期 (2023.01.26)	20 円	第218期 (2024.01.26)	20 円	第230期 (2025.01.27)	20 円
第207期 (2023.02.27)	20 円	第219期 (2024.02.26)	20 円	第231期 (2025.02.26)	20 円
第208期 (2023.03.27)	20 円	第220期 (2024.03.26)	20 円	第232期 (2025.03.26)	20 円
第209期 (2023.04.26)	20 円	第221期 (2024.04.26)	20 円	第233期 (2025.04.28)	20 円
第210期 (2023.05.26)	20 円	第222期 (2024.05.27)	20 円	第234期 (2025.05.26)	20 円
第211期 (2023.06.26)	20 円	第223期 (2024.06.26)	20 円	第235期 (2025.06.26)	20 円
				設定来累計分配金	7,670 円

※1 分配金は1万口当たり
※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
分配金が支払われない場合もあります。

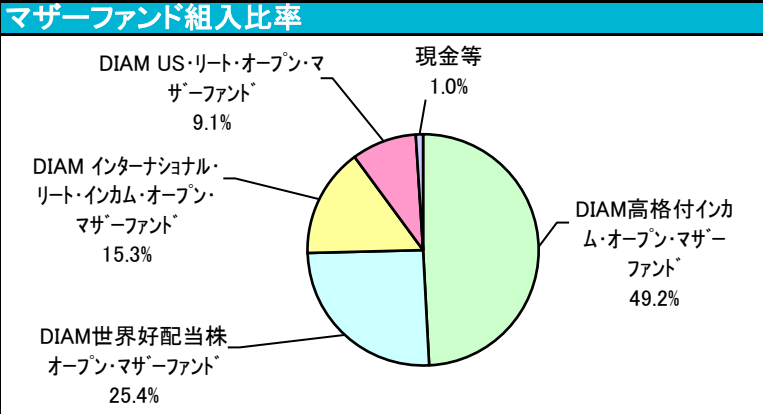
騰落率(税引前分配金再投資)

1カ月	3カ月	6カ月	1年	2年	3年
2.68%	3.14%	0.52%	-0.89%	14.28%	19.73%

※1 騰落率は税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。



※組入比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。また、組入比率が5%未満の通貨については、「その他」として集計しています。



※組入比率は純資産総額に対する割合です。

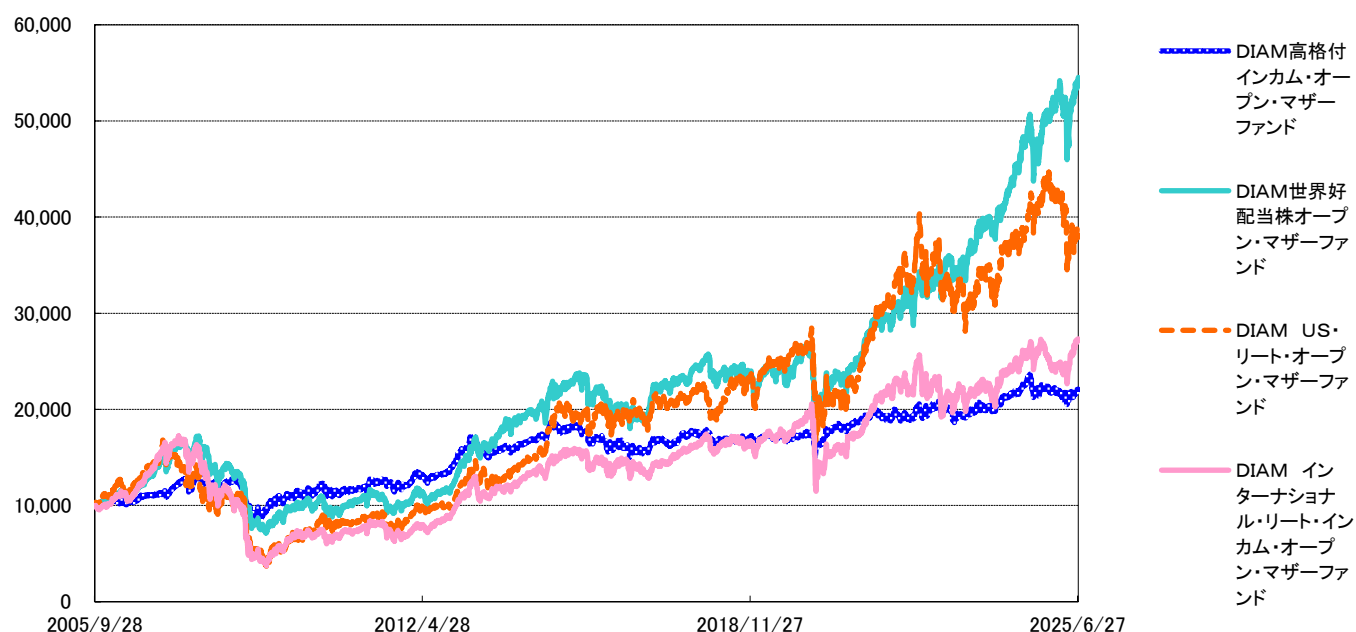
※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

各マザーファンドの基準価額の推移



※基準価額は2005年9月28日の値を10,000として指数化しています。

各マザーファンドの騰落率

ファンド	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
DIAM 高格付インカム・オープン・マザーファンド	2.57%	2.18%	-0.52%	-5.25%	7.07%	10.66%
DIAM 世界好配当株オープン・マザーファンド	3.92%	5.66%	4.00%	10.40%	38.93%	63.60%
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	0.70%	-6.07%	-10.71%	-5.53%	11.39%	11.46%
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	3.18%	10.85%	10.75%	6.46%	23.06%	23.97%

【外国債券】 DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基準価額 27,933 円
純資産総額 83,625 百万円

◆格付別構成比

	組入比率	銘柄数
AAA	97.03%	69
AA	2.97%	3
合計	100.00%	72

※1 組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
※2 格付については、格付機関(S&PおよびMoody's)による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表記方法にあわせて表示しています。

◆通貨別構成比

通貨	組入比率
カナダ・ドル	40.13%
オーストラリア・ドル	39.81%
ニュージーランド・ドル	10.15%
ノルウェー・クローネ	9.91%
合計	100.00%

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

◆ポートフォリオの状況

最終利回り	3.58%
平均クーポン	3.16%
平均残存期間(年)	7.48
修正デュレーション	5.99

※DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの純資産総額を基に計算しています。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

D I A M世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

【外国株式】

D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド

基準価額59,074円
純資産総額41,838百万円

* 組入銘柄の選定に当たり、欧米地域についてはアセットマネジメントOne U.S.A.・インクの投資助言を受けます。
組入銘柄数：74銘柄

◆組入上位10銘柄

No.	銘柄	国・地域	業種	組入比率(%)	配当利回り
1	フィリップモリスインターナショナル	アメリカ	タバコ	4.11	2.96%
2	マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア	3.70	0.67%
3	SAP	ドイツ	ソフトウェア	3.67	0.91%
4	ドイツ・テレコム	ドイツ	各種電気通信サービス	3.35	2.91%
5	シーメンス	ドイツ	コングロマリット	3.34	2.38%
6	シスコシステムズ	アメリカ	通信機器	3.03	2.36%
7	ブロードコム	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.80	0.86%
8	イベルドローラ	スペイン	電力	2.56	3.90%
9	アッヴィ	アメリカ	バイオテクノロジー	2.51	3.53%
10	CMEグループ	アメリカ	資本市場	2.32	1.81%

※1 組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。
※2 配当利回りは、過去1年の発表済み配当金額を基に表示しています。将来の運用成果等を保証するものではありません。
※3 外国株式には不動産投信(リート)を含む場合があります。
※4 業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

【外国リート】

D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド

基準価額55,007円
純資産総額20,226百万円

* 運用指図に関する権限はデビス・セレクトド・アドバイザーズに委託します。
組入銘柄数：34銘柄

◆組入上位10銘柄

No.	銘柄	国・地域	組入比率(%)
1	アメリカン・タワー	アメリカ	6.53
2	ビ・エックス・ピ	アメリカ	4.70
3	レックスフォード・インダストリアル・リアルティ	アメリカ	4.56
4	カズンズプロパティーズ	アメリカ	4.43
5	プロロジス	アメリカ	4.25
6	ブリックスモア・プロパティ・グループ	アメリカ	4.05
7	パブリック・ストレージ	アメリカ	4.03
8	アバロンベイ・コミュニティーズ	アメリカ	3.98
9	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	3.95
10	ペンタス	アメリカ	3.80

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

【外国リート】

D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

基準価額41,746円
純資産総額33,405百万円

* 運用指図に関する権限はファースト・センティア・インベスターズ(オーストラリア)アイエム・エルティエディーに委託します。
組入銘柄数：29銘柄

◆組入上位10銘柄

No.	銘柄	国・地域	組入比率(%)
1	キラム・アパートメント・リート	カナダ	7.42
2	バストネット	ベルギー	6.46
3	グッドマン・プロパティ・トラスト	ニュージーランド	5.71
4	クレビエール	フランス	4.95
5	マーリン・プロパティーズ SOCIMI	スペイン	4.89
6	リージョン・グループ	オーストラリア	4.65
7	ビシニティ・センターズ	オーストラリア	4.59
8	ロンドンメトリック・プロパティ	イギリス	4.45
9	ストックランド	オーストラリア	4.14
10	CTリアルエステート・インベストメント・トラスト	カナダ	4.00

※組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

当月の運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で上昇しました。
当ファンドでは4つのマザーファンドへの配分比率は原則として以下の基本配分比率とします。各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。

基本配分比率は以下の通りです。

外国債券:DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド:50%

外国株式:DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド:25%

外国REIT(リート):DIAM US・リート・オープン・マザーファンド

DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド:合計25%

各資産の運用概況につきましては、後述の各マザーファンドの運用概況をご覧ください。

DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの運用概況

6月の債券市場では10年国債利回りはまちまちの動きとなりました。当月は、良好な米国の雇用統計を背景に米国債利回りが上昇(価格は下落)する場面はあったものの、米国のCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことや、イランへの空爆実施による中東情勢の緊迫化、FRB(米連邦準備理事会)高官による発言から早期追加利下げが意識されたことなどを背景に米国10年国債利回りは低下に転じました(価格は上昇)。一方、ドイツ国債利回りは防衛支出の引き上げなどから債券の発行増が意識され、利回りが上昇しました。

為替市場では、5月に続き多くの主要通貨に対して米ドル安基調が続きました。一方、対円では堅調な米雇用統計や中東情勢の緊迫化による原油高、植田日銀総裁のハト派的な姿勢などを背景に下旬にかけて米ドル高円安が続き、月末にかけては中東情勢の落ち着きと米国の早期利下げが意識されたことで、米ドルが上げ幅を縮める展開となりました。当ファンドの投資通貨については、いずれも対米ドル、対円で上昇しました。

当ファンドでは基本国別投資比率(カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%)を概ね維持しました。デュレーションは、前月末と概ね同水準としました。

債券市場では、米国の通商政策や財政政策がインフレおよび企業や消費者に与える影響が意識されやすく、これに米国国債利回り変動しやすいとみています。投資国の債券市場についても当面は米国経済や米国の通商政策見通しに左右されやすい展開を想定します。また、主要国や投資国での財政拡張的な政策の発表などが利回り上昇要因となる可能性もあり、これらにも注視が必要と考えています。

為替市場については、米国経済や米国の通商政策、日銀の金融政策見通しなどに左右されやすいとみています。また、当ファンドの投資対象となる高格付け資源国通貨は中国経済の動向にも影響を受けやすいとみており、米国の対中政策や中国の政策動向にも振られる展開を予想します。

※上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

DIAM世界好配当株オープン・マザーファンドの運用概況

6月の株式市場は上昇しました。前半は、米国における雇用関連のマクロ経済指標が市場の事前想定を上回ったことなどが好感され、株価は上昇しました。後半は、イスラエルによるイラン空爆や米国によるイラン核施設への攻撃などを受けて、中東の地政学リスクの高まりが一時懸念されたものの、イランとイスラエルの間での停戦合意などを受けて落ち着きを取り戻し、株価は上昇しました。

業種要因では、情報技術セクターなどがプラスに寄与しました。

個別銘柄要因では、ブロードコム(米国/情報技術)やマイクロソフト(米国/情報技術)などの保有がプラス寄与する一方、キンバリー・クラーク(米国/生活必需品)やダノン(フランス/生活必需品)などの保有がマイナスとなりました。

6月の基準価額は上昇しました。

DIAM US・リート・オープン・マザーファンド/ DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの運用概況

米国リート市場は下落しました。上旬は、堅調な米雇用統計などを受けてオフィスリート主導で上昇しました。中旬は、中東情勢への懸念からリスク回避の動きが強まり、下落しました。下旬は、米長期金利低下が支えとなったものの、データセンターリートが示した低めの収益見通しが嫌気されたことや、米ニューヨーク市長選予備選の結果を受けて賃料抑制懸念からオフィスリートが売られ、下落しました。

分野別ではまちまちの動きとなりました。倉庫などが相対的に大きく下落しました。

米国のリートに投資するDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、為替が円安となったことなどから、前月末比で0.70%の上昇となりました。

オーストラリアリート市場は上昇しました。上旬は、RBA(オーストラリア準備銀行)の利下げ観測の強まりを受け、上昇しました。中旬以降は、一時中東情勢の悪化に伴うリスク回避姿勢が重くなったものの、豪州長期金利の低下を受けて概ね横ばい圏で推移しました。下旬は、配当権利落ちなどの影響を受け、上昇幅を縮小しました。

欧州リート市場では大陸欧州は下落した一方、英国は上昇しました。大陸欧州では、ECB(欧州中央銀行)が利下げの打ち止めを示唆したことやNATOの防衛費目標引き上げなどを受けて金利が上昇し、リートは下落しました。英国では、BOE(イングランド銀行)は政策金利を据え置きましたが、ハト派寄りの結果と受け止められて金利は低下し、リートは上昇しました。

アジアリート市場では、香港もシンガポールも上昇しました。香港では、米中貿易協議の進展を好感して上昇しました。シンガポールでも、同様の理由から堅調な動きとなりました。

米国以外のリートに投資するDIAMインターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で3.18%上昇しました。

※上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

- 実質的に外国債券、外国株式、外国リート*に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

*リートとは、不動産投資信託証券をさします。

※各資産への投資はマザーファンドを通じて行います。外国債券:DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド、外国株式:DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド、外国リート:DIAM US・リート・オープン・マザーファンド、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド。

- 毎月決算を行い、安定的な収益の分配を継続的に行うことをめざします。
 - ・毎月26日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として利子・配当等収益を中心に分配を行います。
 - ・毎年6月および12月の決算時には、原則として利子・配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
- ※分配金が支払われない場合もあります。

- 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 資産配分リスク … 当ファンドの実質資産配分において、収益率の悪い資産への配分比率が大きい場合、基準価額が下がる場合があります。
- 金利リスク … 一般的に金利が上昇すると債券、リーートの価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券、リートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。
- 株価変動リスク … 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。
- リートの … リートの価格は、リートが投資対象とする不動産等の価値、当該不動産等による賃貸収入の増減、不動産市況の価格変動リスク 変動、景気や株式市況等の動向などによって変動します。当ファンドは、実質的にリートに投資をしますので、これらの影響を受け、基準価額が上下します。
- 為替リスク … 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
- 信用リスク … 当ファンドが実質的に投資する株式・債券の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、当ファンドが実質的に投資するリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、投資した資産の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。
- 流動性リスク … 当ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- カントリーリスク … 当ファンドの実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口＝1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。 なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入・換金 申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・カナダの銀行の休業日 ・オランダの祝祭日 ・フランスの祝祭日 ・イギリスの祝祭日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限(2005年9月29日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権口数が10億口を下回ることとなった場合。 ・受益者のために有利であると認めるとき。 ・やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	毎月26日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動引き落とし投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらから一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。
※上場不動産投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託(リート)の費用は表示しておりません。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 2.75%(税抜2.5%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.32%(税抜1.20%)
その他の費用・ 手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

D I A M世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取り扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 当ファンドは、実質的に株式、債券、不動産投資信託証券（リート）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点（2025年7月9日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆委託会社およびファンドの関係法人◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

<受託会社>みずほ信託銀行株式会社

<販売会社>販売会社一覧をご覧ください

<投資顧問会社>デービス・セレクトド・アドバイザーズ

ファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）

アイエム・エルティエーディー

アセットマネジメントOne U.S.A.・インク

◆委託会社の照会先◆

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター 0120-104-694

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ URL <https://www.am-one.co.jp/>

※ 世界産業分類基準（GICS）は、MSCI Inc.（MSCI）およびStandard & Poor's Financial Services LLC（S&P）により開発された、MSCIおよびS&Pの独占的権利およびサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社に対し、その使用が許諾されたものです。MSCI、S&P、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者のいずれも、かかる基準および分類（並びにこれらの使用から得られる結果）に関し、明示黙示を問わず、一切の表明保証をなさず、これらの当事者は、かかる基準および分類に関し、その新規性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性についての一切の保証を、ここに明示的に排除します。上記のいずれをも制限することなく、MSCI、S&P、それらの関係会社、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者は、いかなる場合においても、直接、間接、特別、懲罰的、派生的損害その他一切の損害（逸失利益を含みます。）につき、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負うものではありません。

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。



アセットマネジメントOne

D I A M世界インカム・オープン（毎月決算コース）

愛称：世界三重奏

2025年6月30日基準

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

○印は協会への加入を意味します。

2025年7月9日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号	○				
静銀ディーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○				
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号	○			○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○	
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第120号	○				
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号	○	○			
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第148号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○	○			
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第657号	○	○			※1
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○	※1
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○			○	※1
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	※1

以下は取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

○印は協会への加入を意味します。

商号	登録番号等	日本証券業 協会	一般社団法 人日本投資 顧問業協会	一般社団法 人金融先物 取引業協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会	備考
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○		
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○				
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○		

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

※1 新規募集のお取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

（原則、金融機関コード順）

※ 当資料は9枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



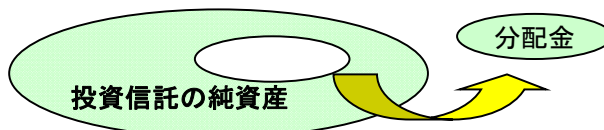
アセットマネジメントOne

収益分配金に関する留意事項

別紙1

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

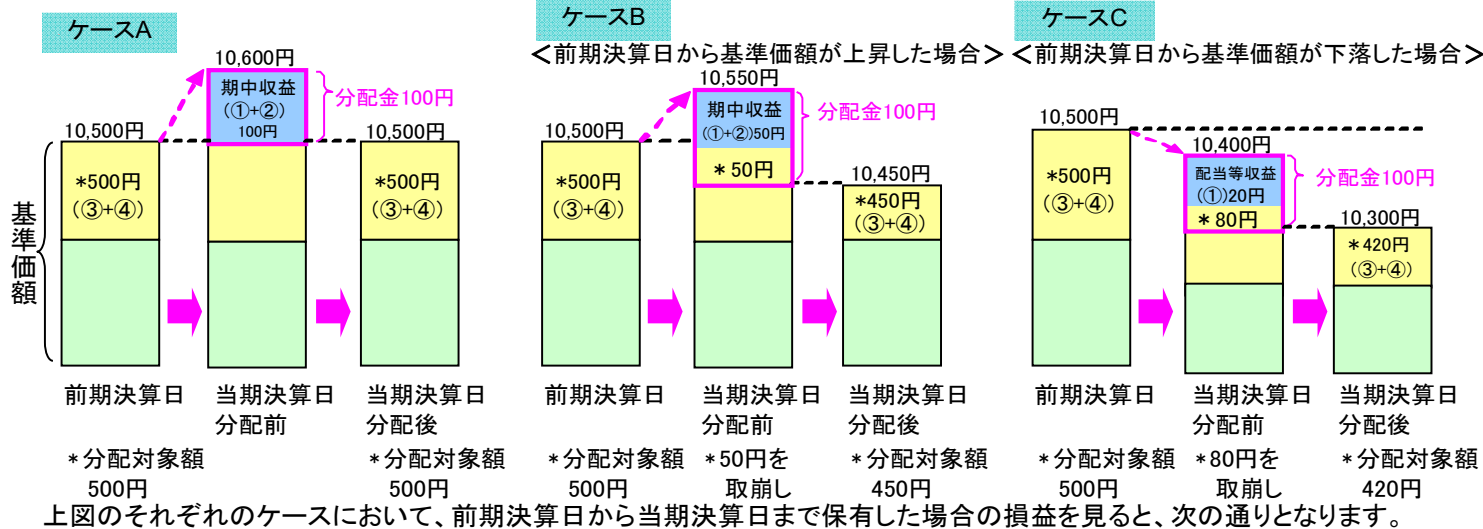
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円 = ▲100円

★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

